



政 晴 会 川 口 啓 介
24
公民館等の和室利用率向上

問 会議室等に比べ利用率の低い和室の利用率向上のために、和室用の椅子を購入するなど、高齢者も使いやすい環境に整備してはどうか。

答 啓市民部長※ 北部地域ふれあいセンターの和室の利用率の向上については、指定管理者と協議し、和室用の椅子などの導入も含めて、方策を検討していきたい。

文化施設については、指定管理者と協議し、和室の利用率の向上について、検討していきたい。公民館としては、利用者の高齢化を見据えた利用しやすい環境の整備が必要となるため、和室用椅子の設置を含めた対応を検討していきたい。

電力自由化への取り組み
利用しやすい公共施設



講師の芳野氏による先進事例の紹介

議会広報研修会に参加しました

広報紙編集委員会の委員が、11月30日に埼玉教育会館で開催された「平成27年度議会広報研修会」に参加してまいりました。

当日は、一般社団法人埼玉県コミュニケーションセンター理事長の芳野政明氏を講師に、「住民に読まれ議会活動が伝わる議会広報のチェックポイント」についての研修が行われました。

「情報なくして参加なし」

市民参加が求められる自治体運営において、自治体と市民は相互依存の関係にあり、両者の関係性構築のためには「情報共有」が欠かせず、議会広報紙は情報共有の一翼を担う重要な役割を持つということを改めて認識しました。

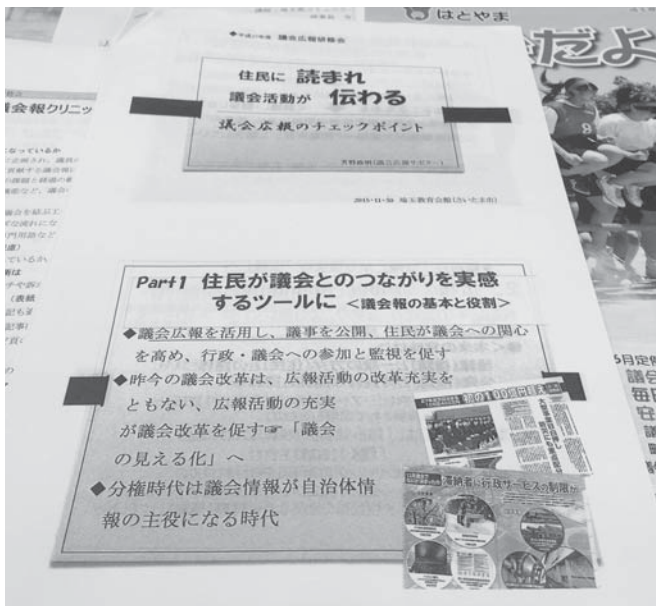
「伝える」から「伝わる」へ

議事や議会諸活動の内容を市民に伝え、共有するまでが議会の責務であり責任であることから、「伝える」広報から「伝わる」広報を意識した編集を行わなければならない、市民の目線に立って、「読みたくなる」企画やレイアウト、写真の活用など細部まで意識して編集することの大切さを学びました。

研修を終えて

広報紙編集委員会では、これまで市民の皆様にとってわかりやすく親しみやすい編集を心掛けてきておりますが、その重要性を改めて認識するとともに、これからの編集作業の参考になる他市の先進事例を勉強させていただきました。

今回の研修で学んだことを活かし、より身近で伝わる議会だよりを目指して努力してまいります。



「伝わる」議会だよりを目指して